

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日	平成30年3月30日
-----	------------

事業名	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発事業		
事業者の名称	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会西日本支部		
契約期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日 (1年目)		
業務の概要	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発業務		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 資源循環課	課長 檀野 浩司	
評価対象期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 2月28日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	小学校からの意見を反映し、事業の効率的な進め方を検討し、実施した。また、限られた予算の範囲で、効率化・経費削減に努めたうえで、効果的な運営を行っている。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業目標・事業計画を策定し、適宜、市へ進捗報告が行われた。また適切な収支内容である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	B	業務の遂行上、必要な人員配置を行っている。組織規定として個人情報保護規定が定められている。緊急時の対応についてはマニュアルの中に盛り込み整備がされているが、事故発生時の対応について、より具体的な体制の整備が必要である。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況

小学校でのごみ出前講座と啓発冊子を活用した児童の実践活動を評価してマイスターの称号を付与している。また、評価の高かった学校はマイスター推進校として表彰している。

取組んでいる事業内容等の評価

小学校関係者の集まる会合等にも積極的に参加し、当事業の広報を行い、参加校・参加児童数の増加を図っており、平成29年度事業終了時点で未実施校が解消された。小学校からの意見・評価を参考に、学校側が参加しやすいシステムの構築に努めており、ごみ出前講座では、3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより児童に理解してもらうために、講座内容の改善にも努めている。

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	当初の事業計画どおり業務を遂行しており、常に学校からのニーズ等の把握に努めている。また、実績についても、昨年度より参加校・参加児童数を増やしており、未実施校が解消された。今後については、新たな講座の設定等により当事業のさらなる活性化に努めていただくとともに、事故発生時の対応についてより具体的に整備していただきたい。

- * 評価は、A~Dの4段階評価とする。
- * 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1~3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。
- * (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。
- * (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成31年3月29日

事業名	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発事業		
事業者の名称	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会西日本支部		
契約期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日 (2年目)		
業務の概要	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発業務委託		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 資源循環課	吉岡 辰郎	
評価対象期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 2月28日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	小学校からの意見を反映し、事業の効率的な進め方を検討し、実施した。また、限られた予算の範囲で、効率化・経費削減に努めたうえで、効果的な運営を行っている。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業目標・事業計画を策定し、適宜、市へ進捗報告が行われた。また適切な収支内容である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	A	業務の遂行上、必要な人員配置を行っている。組織規定として個人情報保護規定が定められている。緊急時の対応及び事故発生時の対応についてはマニュアルの中に盛り込み整備がされており具体的に体制が整備されている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<p>小学校でのごみ出前講座と啓発冊子を活用した児童の実践活動を評価してマイスターの称号を付与している。また、評価の高かった学校はマイスター推進校として表彰している。</p>

取組んでいる事業内容等の評価
<p>小学校関係者の集まる会合等にも積極的に参加し、当事業の広報を行い、参加校・参加児童数の増加を図っている。平成30年度は食品ロスに関する新規講座を3校で実施した。また、講座全体の約3割を授業参観等で実施しており、保護者への啓発にもつながっている。小学校からの意見・評価を参考に、学校側が参加しやすいシステムの構築に努めており、ごみ出前講座では、3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより児童に理解してもらうために、講座内容の改善にも努めている。</p>

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	<p>当初の事業計画どおり業務を遂行しており、常に学校からのニーズ等の把握に努めている。また、新規講座の開催や授業参観時に開催するなど事業の活性化に努めている。今後については、高学年の児童にも受講してもらうなど、さらなる活性化に向けて努めていただきたい。</p>

* 評価は、A~Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1~3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

	評価実施年月日	令和2年4月22日
	作成年月日	令和2年4月27日
事業名	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発事業	
事業者の名称	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会西日本支部	
契約期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日 (3年目)	
業務の概要	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発業務委託	
所管課・課長名	経済環境局 環境部 資源循環課	課長 吉岡 辰郎
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	小学校からの意見を反映し、効率的に事業を実施している。また、限られた予算の中で経費削減に努め、効率的・効果的に運営している。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業・行動計画を作成し、計画的に事業が実施されており、市への進捗報告も適切に行われている。また、収支内容が適切である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	A	業務の遂行に必要な人員配置を行っている。緊急時の対応は事務局マニュアル及び講師マニュアルにて具体的に整理されている。また、個人情報等の管理については、組織規程として個人情報保護規程が定められている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<p>小学校でのごみ出前講座と啓発冊子を活用した児童の実践活動を評価してマイスターの称号を付与している。また、評価の高かった学校はマイスター推進校として表彰している。</p>

取組んでいる事業内容等の評価
<p>小学校関係者の集まる会合等にも積極的に参加し、当事業の広報を行い、参加校・参加児童数の増加を図っている。令和元年度は昨年度に比べ講座回数が減少したものの、講座後のアンケートから、ごみ出前講座の満足度は高いと言える。また、小学校からの意見・評価を参考に、学校側が参加しやすいシステムの構築に努めており、ごみ出前講座では、3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより児童に理解してもらうために、講座内容の改善にも努めている。</p>

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	<p>当初の計画どおりに事業を遂行し、小学校からのニーズ等の把握に努めている。また、アンケート結果からもごみ出前講座の満足度は高く、児童の環境意識の醸成等に資するものである。今後については、環境部として小学校向けの環境教育を実施していくこととなったため、資源循環課の事業としては令和元年度をもって終了する。</p>

- * 評価は、A～Dの4段階評価とする。
- * 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。
- * (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。
- * (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。